



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
           益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「父の学校」LA第一期

二月15日の土曜日から三日間、スタントンにある韓国教会でロサンゼルスで初めての「父の学校」が開催された。参加者は十三名で、このためにアメリカ東部と日本から来られたボランティアは、参加者を越える十四名であった。それも全員が自前で当地に来られ、食事、音楽、片付け、グループのリードなど、とにかく仕えるというその一点のために喜んで奉仕して下さったのだ。

「父の学校」についてはハワイの関真士先生から以前から伺ってはいたが、その内容が一体どういうものなのかは分からず、最初はどうも乗り気ではなかった。でも、今回の主講師が福沢満雄先生だというので、これは参加しなければならぬと思ったのだ。先生とはもうかれこれ二十数年前からお世話になっていて、先生が当地に見えられるのなら、これは見逃してはいけなそうと思っただけである。実に人間的な動機ではある。さて、この学校では、父親として、夫として、どうだったのか、そして今後どうあるべきなのかを探られることになる。更にはそれぞれ愛する妻、子供たちの良い点を二十項目づつ書き、手紙も書くことが日課として出され、それらをそれぞれのグループで発表しなければならぬ。最初は、とても二十項目も書けるものではないという声があつたのだが、それでも時間をかけて書くこととなる。でも、それはそれまでの結婚生活の集大成ともいふべきまとめとなり、また良き反省の時間ともなった。

パウロはエペソ書で「夫たる者よ。キリストが教会を愛してそのためにご自身をささげられたように、妻を愛しなさい」(五・25)と命じているが、この愛は現在形で、妻を愛し続けよとの意味である。それを実践すべく、最終日には妻と連れ立って出席しなくてはならない。その妻たちの前で、良いところ二十項目を読み、更に手紙を読むことになる。実は妻にも夫へ手紙を書く宿題が出されていて、夫婦としての絆をもう一度結び直そうという企画となっている。

僕は2年前に妻を天に送っているのですが、もう一度やり直せるものならどんなに幸せかと、何度思ったことであろう。書いても仕様がなないのだが、とにかく書いた。それは結婚三十年の悔い改めの手紙となった。それをグループの前で読みながら、もし生前の妻がこの手紙を読んでくれたなら、どれだけ心を安んじることが出来ただろうかと思うと、心に迫るものがあった。各テーブルでは、目頭を押さえる夫婦の姿がここかしこに見られた。「父の学校」、それは愛する者の前に、悔いのない生き方を教え、お互いの再出発の学舎となったようだ。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

